

おおつち 社協会報

No. 76
2018.11

【編集・発行】
ae 社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会
住所：岩手県上閉伊郡大槌町上町1-1
TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512



主な記事

P2 赤い羽根共同募金について

P4 広島派遣報告

P5 こづちちゃんが行く

今年も赤い羽根共同募金運動が始まりました！
10月1日から募金運動が始まり、町内で協力を呼びかけています。

皆さまのあたたかい募金は、町内の地域福祉活動や県内の福祉施設の整備などに使われます。また、大きな災害が発生した時には、被災地の災害ボランティア活動や、復興支援活動のために活用されます。

赤い羽根共同募金は、たくさんの「ありがとう」につながる募金です。

～ この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。～



赤い羽根共同募金の使いみちって？



平成30年度目標額 2,665,000円

平成30年度に皆さまにご協力いただいた募金は、平成31年度の地域福祉活動費として岩手県共同募金会から地域に配分されます。
大槌町社会福祉協議会では、このような事業に活用いたします。

事業内容		金額
高齢者福祉	お茶っこの会助成事業	100,000円
	まごころ宅急便事業	10,000円
	大槌町老人クラブ連合会活動助成	231,000円
障がい者福祉	福祉団体活動助成（大槌町身体障害者福祉協議会）	100,000円
	福祉団体活動助成（大槌町言葉を育む親の会）	12,000円
	福祉団体活動助成（大槌町手をつなぐ親の会）	15,000円
児童・母子福祉	社会福祉協力校指定事業	252,000円
地域福祉	ボランティアリーダー養成講座	100,000円
	ボランティアセンター運営費	100,000円
	ボランティア活動保険助成	30,000円
	大槌町民生委員児童委員協議会活動助成	80,000円
	福祉大会運営事業	296,000円
	住民支え合いマップ作成事業	10,000円
	役職員研修会	100,000円
	社協会報・社協だよりの発行	180,000円
	ホームページの運営	130,000円
合計		1,746,000円



キャップハンディ体験



ボランティア研修会（城山公園憩いの場づくり）



世代間交流（昔のおやつ作り）

北海道胆振東部地震災害義援金募集のお知らせ

- 受付期間 平成31年3月31日まで
- 主催 北海道共同募金会
- 受付窓口 大槌町共同募金委員会で受付いたします。
住所：大槌町上町1番1号
(大槌町社会福祉協議会内) 仮設事務所2階
電話番号：0193-41-1511
受付時間：午前8時30分～午後5時15分（平日）

募金箱設置箇所

役場保健福祉課・マスト総合窓口・小川旅館・さんずるや・三陸花ホテルはまぎく・おしゃっちみずかみ大槌店・大槌町社会福祉協議会

税制上の取扱いについて

この義援金は、税制優遇措置の適用対象となります。希望する場合は、主催する共同募金会が発行する領収書が必要となりますので、窓口でお申し出ください。

ご協力ありがとうございました。

大阪府北部地震義援金
18件 **390,500円**

西日本7月豪雨災害義援金
32件 **534,797円**



社協会費納入ありがとうございました

社会福祉協議会会費納入にあたり、住民の皆様から温かいご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。皆様からの会費は、暮らしの復興に関する事業や福祉のまちづくりに活用させていただきます。

会費合計
3,705件
1,850,500円

住民支え合いマップ 一緒に作りませんか？

～一人の悩みはみんなの悩み～

「住民支え合いマップ」って何？

➡ 支え合いマップインストラクターと一緒に、地域の「気になる人」と住民の関わりを地図に書き込んでいきます。

◆マップ作りの進め方

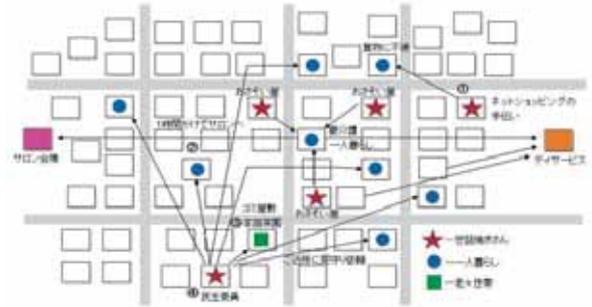
お住まいの地域のこと（支援が必要な人はいますか？その人に誰が関わっていますか？等）を支え合いマップ・インストラクターがお聞きしますので、わかる範囲でお話してください。

◆参加いただく人数

1 地区 3名～5名（自治会・町内会）

◆時間

90分程度



「マップ作成後には…」

- ★ 地域の知らなかったことが見えてくる！
- ★ 自分だけの困りごとは、実は地域みんなの困りごとだとわかる！
- ★ 住民の関係性が見えると、地域課題の解決策が立てやすい！



主役は、住民さんです!!

支え合いマップ・インストラクターが住民同士で支え合う地域づくりのお手伝いをします。

住民支え合いマップの作成に興味のある自治会、町内会の皆様はご連絡ください。

大槌町社会福祉協議会 総務課 地域福祉係
(TEL : 0193-41-1511/FAX : 0193-41-1512)

大槌町内での作成状況

平成24年度から取組、これまで9ヶ所で住民支え合いマップを作成しました。

自治会活動や住民活動に役立てられています。

平成30年度の取組み

今年度は、新たに8ヶ所で住民支え合いマップを作成する予定です。

(9月末現在、2ヶ所作成済み)

～ご寄附のお知らせ～

平成30年6月から9月までの受付分をご紹介します。ご支援いただきました皆様ありがとうございました。(敬称略)

【寄附金一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| ● 株式会社ブリッジ …………… 100,000 円 | ● 特定非営利活動法人しがNPOセンター 20,000 円 |
| ● 藤枝吉夫 …………… 100,000 円 | ● 中村忠男 …………… 21,392 円 |
| ● 芳賀信明 …………… 50,000 円 | ● 千の音色でつなぐ絆 青森実行委員会 20,000 円 |
| ● AMF実行委員会 代表 井上裕康 20,215 円 | ● 青森明の星中学・高等学校 校長 笹木正信 50,000 円 |

【寄贈品一覧】

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ● ジャパンゴルフツアー選手会 …… 車両1台 | ● 吉田 隆 …………… クッキー(サロンで活用) |
|-------------------------|---------------------------|

被災地支援活動レポート

西日本豪雨災害



平成30年7月に発生した西日本豪雨災害では甚大な被害となりました。

本会では、広島市安芸区ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣しました。

支援活動を行った渡辺賢也主事のレポートです。

派遣までの経緯

広島県は浸水区域が広範囲で、近県からの支援では運営スタッフが十分確保できない状況であったため、全国社会福祉協議会を通じて、北海道・東北ブロック社協を含む全国 6 ブロックに職員派遣の要請がありました。

私は、9月27日～10月1日まで（第12クール）広島市安芸区に派遣されました。

安芸区の現状

災害ボランティアセンターへの要望は、家屋の泥出しなどに関するニーズは少なく、敷地内に堆積した土砂の撤去作業が多くありました。

一部の地区では復旧が進み、被災前の生活に近い暮らしをしていましたが、被災地の皆さんの暮らしが戻るまでには、時間がかかることが予想されます。

派遣を通じて感じたこと

今回の職員派遣を通じて、特に印象に残っているのは、地元の皆さんのつながりの強さでした。被災直後、広範囲に及んだ豪雨の影響で、交通網が分断された地域では、自治会や民生委員が中心となって、被災した住民宅の片付けや、炊き出しを行ったとの話を聞きました。日頃のつながりがあったからこそ、できたことだと感じました。

この経験を生かして、我が町でも地域防災力をさらに高めていくための取り組みとして、「防災ボランティア研修会」を継続して開催し、町民の皆さんとともに、災害に強い町づくりを進めたいと考えています。

※防災に関心のある方は、社協ボランティアセンターにお問い合わせください。

TEL 0193-41-1555 / FAX 0193-41-1556



ボランティア活動の様子①



ボランティア活動の様子②

大槌町を
元気に

こづちちゃんが行く!!



今回は、おおつち子ども食堂の皆さんにインタビューを行いました。

■どういった活動をしているの？

月1回（第1が第2の土曜日）子ども無料、大人300円で食事を提供しています。メニューは季節に合ったものを出しています。

■活動のきっかけは？

栄養が偏った食事を摂っている家庭があることを知り、栄養のある温かいご飯を食べさせたいと思っている時に、テレビで子ども食堂を取り上げ

ているのを観て「これだ!!」と思い、始めたのがきっかけです。

今では、子どもだけではなく、高齢者や、地域の皆さんにも参加してもらっています。

子どもが1人でも立ち寄りやすい場所にしたいと考え「おおつち子ども食堂」と名付けました。

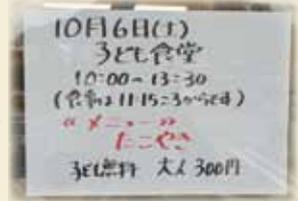
■一番大変だったことは？

事業を始める前は、いろいろと大変なこともありましたが、この事業（おおつち子ども食堂）を始めてからは、特に大変さは感じていません。

地域の皆さんや、事業に賛同してくれる方々が多くいるので、とても助かっています。

■これからの目標

子どもたちが元気に育ってくれるように、長く続けていくことが目標です。



こういう場がもっと増えるようにという思いが強く伝わってきました。固くなく、ゆるやかな居場所であることがわかりました。



つつく

幸せの写真館

皆さんが日頃ほっこりとする日常の風景を募集しています!

(ホームページまたは☎41-1511まで)

緊張するね!
みんなで頑張ろう!!



天気の良いニャー
一緒に遊ぼうよお



コスモスも元気に
咲いています*



風が気持ちいい~♪
楽しいな~♪♪



バレエ大好き♡
どう?パッチリ
きまつてるでしょ?



大好きなおしるこを
作ってるの♡みんな
喜んでくれるかな~



お知らせ



日常生活自立支援事業のご案内

高齢の方や障がいのある方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、また、それにもなう日常的な金銭管理などを行っています。

☆対象

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方



☆主なサービス内容

公共料金等の支払い及び福祉サービスの手続き代行等

☆利用料金

相談は無料。契約後は1時間当たり1,300円

●相談日 毎週月曜日～金曜日

●時間 午前8時30分～午後5時30分

●住所 釜石市大渡町3-15-26 (旧市民病院8階)

●電話 ☎31-1331 (直通)

たすけあい金庫貸付事業

●内容

たすけあい金庫貸付は、生活費や医療費などが一時的に必要となった世帯にお貸しする制度です。



申込みを希望される方は地区の民生委員、又は当協議会へご相談ください。

●対象者 町内在住の低所得者

●貸付額 1世帯1件の貸付で5万円以内

●償還期間 10ヶ月以内 ※要相談

生活困窮者自立支援事業

仕事や生活、日々の生活で困りごとはありませんか？
ひとりで悩まず一緒に考えていきましょう。

生活困窮者自立支援事業は、

「働きたいけれど、うまくできる自信がない」

「社会に出るのが不安」

「家賃が払えず家を追い出されそう」

「生活が苦しい。電気・ガス・水道などが止められそう」

「近所に心配な人がいるけど大丈夫だろうか？」

など、さまざまな困難な状況の中で生活している人に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けたお手伝いをする事業です。

電話での相談や家族からの相談もお受けしています。

相談は無料です。

●相談窓口：大槌町社会福祉協議会 暮らし・しごと相談所 電話 0193-42-4355 / ファックス 0193-41-1512

●受付時間：午前8時30分～午後5時15分 (土日・祝祭日・年末年始を除く)

生活福祉資金貸付制度の紹介

生活福祉資金貸付制度とは、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

ご利用いただける世帯は？

【低所得世帯】
・世帯の収入が一定基準以下の世帯

【障がい者世帯】
・障がい者世帯(知的・身体・精神)
※障がい・療育手帳の交付を受けている者の属する世帯となります。

【高齢者世帯】
・65歳以上の高齢者の属する世帯(注)所得制限有り

【生活保護世帯】
・生活保護を受けている世帯

貸付金の種類は？

- ① 総合支援資金…就職までの間の生活費
- ② 福祉資金…医療費用、一時的な生活費など
- ③ 教育支援資金…進学費用、就学支度金など
- ④ 不動産担保型生活資金…居住用不動産を担保に生活費の借入れを行います。
- ⑤ 生活復興支援資金…東日本大震災で被災した世帯に対する貸付

お問い合わせ 大槌町社会福祉協議会 ☎0193-41-1511

支援の流れ

ステップ1

悩みごと・心配なことをお聞かせください。
相談支援員と一緒に課題を整理していきます。

ステップ2

課題を解決するために、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作ります。
具体的な目標を一緒に考えていきます。

ステップ3

課題を解決しながら、生活の安定・自立を目指しましょう。目標が達成できるまで、相談支援員がサポートします。

大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届けできるようホームページを開設しています。パソコン、携帯電話などでご覧ください。

携帯サイト

携帯電話でもサイトの一部を公開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどの秋を堪能されていますか。さて、今年は松茸、秋刀魚が豊作と嬉しいニュースを見ました。季節の物を堪能できる地域(大槌町)に住んでいる私達は、本当に幸せだと感じました。

編集後記